

近畿農政局地方参事官室（京都府担当）からのメール情報 第73号
2019.4.16

各位

近畿農政局地方参事官室（京都府担当）

時下益々ご清栄のことと存じます。

日頃より地域農政の推進に格段のご理解とご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

農政に関するメール情報を以下のとおり配信いたします。

皆様の地域の農業を元気にする取組に、少しでもお役に立てば幸いに存じます。

~~今回お知らせする情報~~

- 気候変動に対応する農業技術国際シンポジウム「地球規模で考える気候変動と農山漁村」の開催及び参加者の募集について
- 「畜産関係の消費税軽減税率制度の地方説明会」の開催及び参加者の募集について
- 若手農業者が食料・農業・農村審議会に水田農業の現場の声をお届け！
- 野菜の生育状況及び価格見通し(平成 31 年 4 月)について
- 米に関するマンスリーレポート（平成 31 年 4 月号）の公表について

[illegible]

- 気候変動に対応する農業技術国際シンポジウム「地球規模で考える気候変動と農山漁村」の開催及び参加者の募集について

気候変動と農業に関する国際的状況の理解促進、気候変動に対応した農業技術へ

の関心向上・認知度向上を目的として、2019年5月13日（月曜日）～15日（水曜日）に、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールにおいて、シンポジウムを開催します。本シンポジウムは公開で、報道関係の方はカメラ撮影も可能です。また、日英同時通訳付きで行います。

※プログラムについては、農林水産省 HP をご覧ください

<http://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/kikouhendou/symposium/main.html>

近年、干ばつや集中豪雨などの異常気象による災害が世界各地で発生し、食料生産にも甚大な被害を引き起こしていることが毎年のように報告されています。農業は同時に、温室効果ガスの排出源でもあることから、持続的に農業生産を行うためには、気候変動に適応するだけでなく、生産性を高め、かつ温室効果ガスを削減する必要があります。

このことは、人類共通の課題です。そのために、毎日食事をする私たちにできることは何か、実際に取組の現場にいる国内及び海外各国の代表の方々から紹介・議論します。

※参加登録につきましては、以下のリンク先からご登録ください。

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/kanbo/kankyo/sanka.html>

【お問い合わせ先】

大臣官房政策課環境政策室

担当者：長野、古田、橘

代表：03-3502-8111（内線 3296）

ダイヤルイン：03-3502-8056

○ 「畜産関係の消費税軽減税率制度の地方説明会」の開催及び参加者の募集について

本年10月1日に消費税率が10%に引き上げられることに伴い、低所得者の負担を軽減するため飲食料品と新聞に対する軽減税率(8%)制度が実施される予定です。特に畜産物の流通は、関係事業者が多いことや請求費目が煩雑であることから、より一層の制度理解と区分経理・区分記載への準備を促すため、畜産関係の説明会を開催します。

※ 詳細については、以下のリンク先をご確認ください。

<http://www.maff.go.jp/kinki/seisaku/seisan/tikusan/tikusannsinnkou/syouthizei.html>

【お問い合わせ先】

生産部畜産課
担当者：谷、余田
TEL：075-414-9022

○ 若手農業者が食料・農業・農村審議会に水田農業の現場の声をお届け！

3月18日（月）第67回食料・農業・農村政策審議会企画部会が開催されました。次期食料・農業・農村基本計画も視野に、将来を担う4名の若手農業者より、水田農業をテーマに、個々の取組や直面する課題をお話いただき、委員と活発な議論が行われました。

若手農業者からは、農地の集約や事業継承、スマート農業、農村システム、輸出といった幅広い切り口から、率直な意見をいただきました。

今後とも、さまざまなテーマで現場の声を伺い、農政に活かしてまいります！

※会議の概要は、以下のページでご覧になれます。

<http://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/kikaku/bukai/190402.html>

○ 野菜の生育状況及び価格見通し(平成31年4月)について

農林水産省は、東京都中央卸売市場に出荷される野菜の生育状況及び価格見通し(平成31年4月)について、主産地等から聞き取りを行いましたので、その結果を公表します。

※ 詳細については、以下のリンク先をご確認ください。

<http://www.maff.go.jp/j/press/seisan/engei/190326.html>

※ これまでの公表資料は、同URLで御覧になれます。

http://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/yasai_zyukyu/index.html

【お問い合わせ先】

生産局園芸作物課
担当者：朝倉、坂田
代表：03-3502-8111（内線4822）
ダイヤルイン：03-3502-5961

○ 米に関するマンスリーレポート（平成31年4月号）の公表について

農林水産省は、米に関する価格動向や需給動向に関するデータを集約・整理した「米に関するマンスリーレポート（平成31年4月号）」について取りまとめました。

※ 詳細については、以下のリンク先をご確認ください。

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>

【お問い合わせ先】

政策統括官付農産企画課

担当者：佐久間、角、兼井

代表：03-3502-8111（内線 4975）

ダイヤルイン：03-6738-8973

☆編集後記☆

「平成」にかわる新元号が「令和」と決まりました。

新しい元号は、「明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせるという、そうした日本でありたいという願いを込めて、「令和」に決定した。」と内閣総理大臣談話がありました。

また、調和を連想させる「和」の文字が入ったことで、恒久平和を連想される方も多いと思います。一時代の終わりと、やがて迎える新たな幕開けに期待を膨らませる、今日この頃でございます。(MN)



○ 農林水産業流通マッチングナビ agreach のご紹介

agreach は、生産者・卸売業者・バイヤーがそれぞれの企業情報を登録し、互いに取引先となる企業を探索できる仕組みです。農林水産物の生産・流通に関わる事業者の販売先／仕入先の開拓にご活用いただけます。

※ agreach の Web サイトは、以下のリンク先にアクセスしてください。

<https://www.agreach.jp/>

○ 農業研究見える化システム アグリサーチャーのご紹介

アグリサーチャーは、最新の研究成果と研究者の連絡先を簡単に検索できる情報公開（Web）システムです。是非、興味のある成果・技術を探して研究者に相談するなど、本システムを生産現場の問題解決にご活用ください！

※ アグリサーチャーの Web サイトは、以下のリンク先にアクセスしてください。

<https://mieruka.dc.affrc.go.jp/>

○ 農業資材比較サービス「AGMIRU」のご紹介

農業資材比較サービス「AGMIRU」は、農業資材の希望条件を登録すると、複数の販売店から商品の見積もりが届くサービスです。

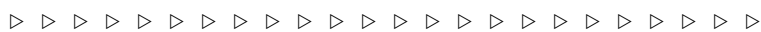
※ 「AGMIRU」の Web サイトは、以下のリンク先にアクセスしてください。
(ソフトバンク・テクノロジー（株）が運営するサイト「AGMIRU」に移動します。)

<https://agmiru.com/>



§ 農林水産省ビジョンステートメント §

私たち農林水産省は、生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を未来の子どもたちに継承していくことを使命として、常に国民の期待を正面から受けとめ、時代の変化を見通して政策を提案し、その実現に向けて全力で行動します。



メール情報の配信停止・配信先変更ご希望の方は、その旨を記載し、このメールに返信願います。

近畿農政局 地方参事官室（京都府担当）
〒602-8054
京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町
TEL：075-414-9015
FAX：075-414-9057
E-MAIL: kinki_sanjikan_kyoto@maff.go.jp
